

肥満・脂質異常症・肥満症と CKD/ESKD 発症および経時的腎機能変化との関連

2023 年 6 月 21 日

吉田 唯

CKD（慢性腎臓病：chronic kidney disease）は腎障害や腎機能の低下が持続する状態の総称である。CKD が進行すると ESKD（末期腎不全：end stage kidney disease）に至り、透析療法や腎移植術が必要となる¹。ESKD の原因疾患として、糖尿病が主な原因の糖尿病性腎臓病が約 40%(2021 年)と 1 位を占め、また高血圧とそれによる動脈硬化を原因とした腎硬化症の割合が増加している²。このため、生活習慣病の早期診断・介入による腎機能進行抑制が重要である。メタボ健診（特定健康診査）など、生活習慣病のスクリーニング検査において腎機能を確認し、異常があった場合は医療機関受診へとつなげる必要がある。

メタボリックシンドロームの構成要素のうち、高血圧・高血糖が CKD 発症の独立した危険因子であることは知られているが^{3,4}、肥満・脂質異常症・肥満症と CKD 発症との関連については未だエビデンスに乏しい。また、メタボリックシンドローム及びその構成要素と経時的な腎機能低下変化との関連を調べた研究は少ない。これらを検討することで、健診における CKD ハイリスク患者の早期発見・介入や、内科医・腎臓専門医への早期の紹介に結び付く可能性があるだろう。

1. 日本腎臓学会. エビデンスに基づく ckd 診療ガイドライン 2018. *日本腎臓学会誌 = The Japanese journal of nephrology*. 2018;60(8):1037-1193.

2. 花房 規男, 阿部 雅紀, 常喜 信彦, et al. わが国の慢性透析療法の現況 (2021 年 12 月 31 日現在). *日本透析医学会雑誌*. 2022;55(12):665-723.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsdt/55/12/55_665/_article/-char/ja. doi: 10.4009/jsdt.55.665.

3. Duckworth W, Abraira C, Moritz T, et al. Glucose control and vascular complications in veterans with type 2 diabetes. *The New England Journal of Medicine*. 2009;360(2):129-139. <http://content.nejm.org/cgi/content/abstract/360/2/129>. doi: 10.1056/NEJMoa0808431.

4. KANNO A, KIKUYA M, SHISHIDO Y, et al. Pre-hypertension as a significant predictor of chronic kidney disease in a general population: The ohasama study. *Nephrology, dialysis, transplantation*. 2012;27(8):3218-3223. <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/22510379>. doi: 10.1093/ndt/gfs054.